

2011年
5月号



青雲会 会報

平成23年5月31日
編集・発行
青雲会(大阪大学法学部同窓会)
会長 三木 秀夫
事務局
〒560-0043 豊中市待兼山町1-6
大阪大学大学院法学研究科内
TEL&FAX.06-6850-5198
E-mail ishibashi@seiunkai.net
http://www.seiunkai.net/
印刷 株式会社 アーツ One to one & Direct Marketing Company
ARTS

平成23年度

青雲会総会のご案内

講演会のテーマ

『**金融の変遷と信託の役割**』

日時

平成23年**7月9日(土)** 午前**10:30**開会
10:30-12:00 総会 講演
12:00-14:00 懇親パーティー

会費

6,000円(学生1,000円)
ご出席の方は、会費の**前納**をもって申込みとさせていただきます。
同封の払込み用紙をご利用ください。 **払込み期限 6月24日(金)[必着]**

場所

大阪大学会館(旧イ号館)
大阪府豊中市待兼山1-13 大阪大学豊中キャンパス



講師 **常陰 均氏** (新制25期)

[略歴]
昭和52年4月 住友信託銀行株式会社入社
平成16年6月 同社 執行役員 企画部長
平成17年6月 同社 取締役 兼 常務執行役員
平成20年1月 同社 取締役社長
平成23年4月 三井住友トラストホールディングス株式会社
取締役会長
住友信託銀行株式会社
取締役会長兼社長



2011 OSAKA UNIVERSITY SEIUNKAI

大阪大学会館(旧イ号館)

大阪大学が平成23年(2011年)に創立80周年を迎えるにあたり、世界に向かっての「大阪の顔」としての大阪大学を作り上げるため、昭和3年に建設された旧制浪速高等学校の校舎(イ号館)を再開発して「大阪大学会館」に生まれ変わりました。
大阪大学の歴史を継承して、大阪大学の新しいシンボルとなる建物です。
この会館の2階にある大阪大学講堂で青雲会総会を開催いたします。
総会に参加して、是非新しい大阪大学会館をご覧ください。

3月11日の東日本大震災により、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災された皆様の安全確保と一日も早い復興を願い、被災者義援金を青雲会として募集しますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。皆様から寄せられた義援金は日本赤十字社を通じ被災地の復興支援に役立てます。

会報に同封している年会費、総会参加費の払込取扱票により、義援金として金額をご指定の上、ご送金いただき、それを青雲会が取り纏め、日本赤十字社に東日本大震災義援金として払込みをいたします。何卒皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

■ 青雲会会長 ご挨拶

大阪大学会館で会いましょう



会長 三木 秀夫
(新制30期 弁護士)

森信静治前会長から引き継ぎを受け、本年4月1日より青雲会の会長に就任いたしました三木秀夫です。まずは、本年3月に発生いたしました東日本大震災で被災をされました方々には、心からお見舞いを申し上げます。

さて、素晴らしい諸先輩方が多数おられます中で、私のような者がかかる重責を担うことについては躊躇をいたしました。ご推挙を頂きましたことから、誠に微力ではありますが、皆様のご協力を頂きながら努めて参りたいと思います。何卒、宜しくお願い申し上げます。

私は、入学は昭和50年ですが、卒業は昭和57年ですので、卒業期としては新制30期となります。昭和59年に弁護士登録をし、この3月まで平成22年度の大阪弁護士会副会長をしておりました。青雲会では縁があって、中川会長、森内会長、森信会長の3代の会長に副会長として支えて参りましたが、そのまま会長職が回るとは思ってもいなかったところです。

本年は、大学が創立80周年を迎えます。近年、大阪外国語大学と統合し、学生数が国立大学で最多となるなど、大きく変化しています。法学部も、平成20年度からは国際公共政策学科ができ、法科大学院は課題を抱えつつも業績を伸ばしてきています。教養部を過ごしたイ号館もリニューアルし、この5月から大阪大学会館としてスタートしました。

そのような中、青雲会は会員数も約1万人にもなりました。他の副会長及び事務局の協力を頂きながら、大学、法学部、法科大学院、阪大法曹会、そして他の学部同窓会などとの連携を深めながら、時代に合った同窓生の交流と発展に努めて参りたいと思います。ぜひ、昔若かった方も、今若い方も、同窓の輪を広げませんか。大阪大学会館での総会にご参加をお待ちしています。

■ 青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長
大阪大学法学部長

中尾 敏充
(経済学部新制21期)

青雲会の皆様には日頃から大変お世話になっています。3月11日に起こった三陸沖の巨大地震は、東北・関東地方に未曾有の被害をもたらしました。連日の報道から、その被害の実態が遙かに想像を超えたものであることが明らかになっています。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。このような事態に対して日本全国から、世界各国から協力・支援の輪が広がっています。人・物資・義援金などが短期間のうちに寄せられ、被災地や被災者に届けられています。しかし、被災地や被災者によってはそれらが全く届けられていない事態も生じています。被災された方々が協力し合って乗り越えようとしている状況を報道を通じて目の当たりにしますと、日頃からの地域的なまとまりが如何に大切であるかを実感させられました。人的なネットワークとその運用が如何なる困難をも克服するであろうと思っています。

その意味でも同窓会の人的ネットワークに期待し、法学部・法学研究科を発展させていきたいと考えています。今後とも、ご協力・ご支援を切にお願い申し上げます。

■ 高等司法研究科の近況



高等司法研究科長
谷口 勢津夫

平成22年度卒業式で、鷺田総長は、東日本大震災の被災者の方々への言葉を、「いま、わたしたちが被災者の方々に対してできることは、この見守りつづけること、心を届けるということです。」という言葉で、締め括られました。青雲会の関係者の中にも被災された方がおられるのではないかと思います。総長の言葉にあるように、被災者の方々を決して忘れず見守りつづけ、心を届けたいと思います。心よりお悔やみとお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、高等司法研究科の近況を簡単に紹介いたしますと、昨年の新司法試験ではこれまでで最高といってもよい合格実績を残したこと、教育の質の向上に積極的に取り組んだこと、法学研究科・法学部との関係を「成熟した関係」に高めるべく連携を強化する取組みを本格化させたこと、大阪大学法曹会との連携協力関係を緊密にし、正課・課外で高等司法研究科の教育に関与していただいているOB・OGの実務家の先生方との意見交換会を開催したこと、を特に申し述べておきたいと思います。高等司法研究科は、教育の質の向上と各方面との連携の強化により、トップロースクールを目指します。

■ 国際公共政策学科長 ご挨拶



国際公共政策学科長
星野 俊也

法学部国際公共政策学科は本年が完成年度で、初めて4年生を社会に送り出します。そうした記念すべき、そして、重要な時期に学科長を拝命したことに責任の重さをひしひしと感じています。他方で、新学科の学生たちが権威ある阪大法学部の長き伝統と、国際公共政策研究科の新しい伝統とを誇りに思い、まさに青雲の志を持って社会の有用なリーダーとして羽ばたいていくことに大きな期待を持っています。

私は、本学法学部で特に国際公共政策学科の学生たちには「5つのK」を胸に抱いて勉学に励んでもらいたいと話しています。それらは、課題解決型の発想、国際的なセンス、公共のマインド、行動力、そして基礎の充実です。政策学はとかく応用の学問ととらえられがちですが、それはしっかりとした基礎があってこそ、生きてきます。法学部で基礎から専門への足場をぜひ固めてください。

私の専門は国際関係論。外交の実務と国際政治の理論とを「国際公共政策」をキーワードに橋渡しをし、また、意欲のある多くの学生の皆さんを国際的な政策セクターに送り込み、私たちの英知を政策に結び付けていく醍醐味を分かち合いたいと思っています。

今後ともよろしくご祈り申し上げます。

■ 大学80周年と青雲会のあゆみ

今年は大阪大学創立80周年に当たり、大学では5月1日(日)に創立80周年記念式典等を開催することとしておりました。しかしながら3月11日の東日本大震災による未曾有の被災に対する救援・復興のため、予定しておりました創立80周年記念式典等各種事業は中止、延期、内容変更となりました。

大学・法学部・青雲会のあゆみの概略を紹介します。 過去を辿り未来に眼を向けよう!

大阪大学は1931(昭和6)年、医学部と理学部の2学部で、わが国6番目の帝国大学として創設されました。しかし、阪大の学問的系譜は江戸時代までさかのぼります。1724(享保9)年に設立された懐徳堂は、特定の学派・学説にとらわれない自由な学風を誇りとする町人の教育機関で、独創的な学問と思想を展開しました。また、1838(天保9)年に緒方洪庵が開いた適塾は大村益次郎、福沢諭吉、橋本左内など近代日本を切り開いた人物を輩出しました。

- 1933(昭和8)年 大阪工業大学を吸収して工学部を設置
- 1947(昭和22)年 大阪大学と改称
- 1948(昭和23)年 法文学部(法学科、文学科、経済学科)発足
- 1949(昭和24)年 学制改革により、理・医・工・文・法経の5学部からなる新制大阪大学として新たなスタートを切り、一般教養部を設置
- 1951(昭和26)年 医学部から歯学部が分離独立
- 1953(昭和28)年 法経学部を法学部と経済学部に分離
- 1955(昭和30)年 医学部から薬学部が分離独立
- 1961(昭和36)年 基礎工学部が設置
- 1972(昭和47)年 人間科学部が設置
- 1993(平成5)年 医学部附属病院が大阪市中中之島から吹田キャンパスに移転を完了
- 2007(平成19)年 大阪外国語大学との統合により、新たに外国語学部が設置

青雲会のあゆみ・歴代会長

1954(昭和29)年	法学部同窓会発足	石原 博(旧1)
1960(昭和35)年		松井 昌次(旧3)
1963(昭和38)年		武村富治夫(新制1)
1964(昭和39)年	法学部同窓会10周年	
1967(昭和42)年		三木 一徳(新制2)
1974(昭和49)年	法学部同窓会20周年	尾池 良行(新制3)
1975(昭和50)年	同窓会を青雲会と命名	
1978(昭和53)年		岩橋 健(新制3)
1981(昭和56)年	法学部創立30周年	塚口 純行(新制4)
1984(昭和59)年	青雲会30周年	
1985(昭和60)年		谷川 秀善(新制5)
1991(平成3)年		扇野 聖史(新制6)
1994(平成6)年	青雲会40周年	
1996(平成8)年		山崎 幸三(新制8)
1998(平成10)年	法学部創立50周年	
1999(平成11)年		野村 務(新制9)
2001(平成13)年		田中 昇(新制10)
2003(平成15)年		宿 敏幸(新制12)
2004(平成16)年	青雲会50周年、大学院高等司法研究科設置	
2005(平成17)年		中川 清孝(新制15)
2007(平成19)年		森内 賢一(新制18)
2008(平成20)年	法学部国際公共政策学科新設	
2009(平成21)年		森信 静治(新制24)
2011(平成23)年		三木 秀夫(新制30)

大阪大学法曹会よりのお知らせ

リニューアルいたしました法曹会の近況をご報告申し上げます。

1. 2010年度 新司法試験合格者が95名となりました。

内訳は高等司法研究科出身者が70名(全国7位)
阪大法学部出身で他大学法科大学院卒業生が25名でした。

阪大法曹会としては年間100万円の資金援助と
講師派遣等の人的援助を行っております。

2. 2010年10月20日 合格者祝賀パーティーを開催 いたしました。

合格者95名中75名出席という大盛況となりました。
せっかく合格しても就職が難しいという背景の中、
先輩弁護士さんと話し合う機会ができて大好評でした。



3. 新年度役員のご紹介

2010年10月20日の総会の席上下記の役員が選出されました。

会 長 的場 悠紀
副 会 長 野村 務
副 会 長 中川 清孝
事務局 長 福田 健次



会長の 的場 悠紀

4. 事務局体制のお知らせ

総合的な事務局と実務を
行う事務局分室とで事務
を行います。

事 務 局 堂島法律事務所内
Tel 06-6201-0361

事務局分室 大阪大学大学院 法学研究科内
Tel&Fax 06-6850-5198(青雲会内)

E-Mail housoukai@lawschool.osaka-u.ac.jp

分室では 名簿管理 会費管理 会計事務
大学内情報管理等を行います。

■ 平成22年度 総会報告

日 時：平成22年7月10日(土)
 10:30 総会・講演
 12:00 パーティー
 会 場：大阪 弥生会館
 講 師：国連ボランティア名誉大使
 中田 武仁 氏
 テーマ：「厚仁(新制40期)の信じたもの 追い求めたもの そして残していったもの」



平成22年度の総会は7月10日(土)大阪弥生会館において開催いたしました。

当日は快晴に恵まれ、約90名の会員皆様にご出席いただき盛会のうち、総会を終えることが出来ました。

特に近年学生及び若い世代の会員の出席が増加し、熱気あふれる総会となってまいりました。

会長より「文系3学部の手合会の開催」「会報の内容の充実」「ホームページ改定」等、現在改革中のテーマについての発表がありました。

講演は、故中田厚仁様(新制40期)のお父上である中田武仁様にお願しました。中田厚仁様は、昭和62年国際連合カンボジア暫定統治機構(UNTAC)が募集したボランティアに採用され現地にて新しい民主主義の選挙の普及にまい進されていたとき、何者かに拘束され射殺されました。

武仁様はご子息の殉職後国連ボランティア名誉大使となり、厚仁様のご遺志を皆様に伝える活動をされご子息と2人分の平和活動をなさっている心の風景をお話されました。

久しぶりの世界平和のお話でしたので皆様心静かに静聴されておられました。

続いて恒例のパーティーに移り高田敏名誉教授にもご挨拶を頂きました。出席者は同期やゼミ仲間達との昔話に花を咲かせ、パーティーは大盛況のうちに終了しました。

元気に211人が卒業しました！

卒業修了者交流会

3月25日、卒業式があり、法学部より170名、法学研究科より41名が卒業されました。3月11日に起きた東日本大震災のため、卒業祝賀会が「卒業修了者交流会」と名称を変更し、犠牲者への黙祷をした上、祝辞が挨拶に、乾杯が献杯に変更して開催されました。

献杯の前に青雲会懸賞論文の入賞者表彰を行いました。森信会長から1席の醍醐氏(法3)を始め2席1名、佳作2名、新人賞1名の合計5名が表彰され、卒業生の皆さんから祝福を受けられました。この会は、青雲会が主催ですが、当日の運営は法律相談部・法学研究会に所属する学生が行い、今年は参加された先生方をテーマとしたクイズ形式のゲームで盛りあがりしました。当日の飲み物は今年もサントリーさんにご寄贈いただきました。お礼申し上げます。

当日の参加者は先生方を除いても113名という大人数で、2グループに分かれて記念撮影をしなければならないほどでした。



▲ 卒業修了者交流会記念写真 ▲

青雲会ホームページリニューアルのお知らせ

この度、会員の皆様のご要望により青雲会ホームページを改訂いたしました。一度新しい青雲会ホームページをご覧ください。

<http://www.seiunkai.net/>



▲トップページ

主な改正点は次のとおりです。

- ① **イベントスケジュール**
色々のイベントスケジュールを掲載しております。ご興味のある方はどしどしご参加下さい。
- ② **会員の広場**
同期会等皆様のイベントの開催予定又は開催結果などを発信頂き、卒業生同士の交流にお役立て下さい。
- ③ **大学内の様々な動きを出来るだけ早く会員の皆様にお伝えいたします。**

今回の会報発送時には、会員専用のページにログインするための会員IDとパスワードをお知らせしております。(準会員は除く)
会員専用のページから、現住所や勤務先の異動、メールアドレス登録などの変更を、ご自身でいつでも行うことができます。
一度青雲会ホームページの会員ページにアクセスしてください。

未だ改正が不十分でございますが、皆様のご意見を反映させ、楽しいホームページにしていきたいと存じます。ご意見をお待ちしております。

大阪大学未来基金

「青雲教育研究事業」へのご寄付をよろしくお願いします。
(法学部・法学研究科・高等司法研究科教育研究事業)



皆さまのご厚意は、法学部・法学研究科、高等司法研究科で学ぶ学生の支援や教育環境の整備、教員の教育・研究活動の充実などに活用されていきます。現在の、そして未来の阪大生の育成のために皆さまの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

【基金の活用事例】

学生支援

- ・留学支援、留学生サポート
- ・キャリア支援、学生の表彰

教育環境の整備

- ・図書、研究用文献の購入
- ・教室、自習室などの整備

教育・研究の充実

- ・教材の開発支援、出版助成
- ・研究資料収集、在外研究支援

大阪大学未来基金へのご寄付は、ゆうちょ銀行での払込、クレジットカードによるお支払い、金融機関での振込をご利用いただけます。同封のパフレット又は大阪大学未来基金のホームページをご参照ください。

※同封の未来基金に関するアンケートへのご協力もよろしくお願いいたします。

大阪大学未来基金 で 検索

【大阪大学基金事務局】〒565-0871 大阪市吹田市山田丘 1-1

TEL : 06-6879-8327 FAX : 06-6879-4337 E-mail : kikin@office.osaka-u.ac.jp <http://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/>

■平成22年度 青雲会行事報告

1.総会

平成22年7月10日(土)大阪弥生会館にて開催いたしました。詳細については、5ページの総会報告をご参照ください。

2.留学生への奨学金付与

本年度は、ファン ソンヒさん(韓国出身)に決定いたしました。なお、ファンさんのことについては、9ページの座談会をご覧ください。

3.懸賞論文

今年は12名から応募があり、以下のとおり決定しました。

1席 法3 醍醐 龍馬 君

「外交官榎本武揚と樺太千島交換条約—交渉とその評価—」

2席 法4 千邑 竜也 君

「おとり捜査の刑事訴訟手続における問題点」

佳作 法3 常盤 成紀 君

「インターネット空間と現実世界の関係—インターネットへの政治学的期待—」

佳作 法4 渡邊 諒 君

「環境権の新たな視点」

新人賞 法1 五味 洋平 君 外3名

「死刑にあたる罪についての公訴時効廃止の是非」

4.幹事会

4月20日、6月22日、9月7日、12月7日、2月15日に開催しました。参加人員は毎回30名前後の幹事が出席し、青雲会の運営方針を決定しています。

5.ホームページのリニューアル

同窓会活動の最新情報について、多くの方々にアクセスして頂き、会員の情報共有、会員同士の交流の促進を図るためにリニューアルいたしました。

6.卒業修了者交流会

今年も準会員であった学生を正会員として迎える青雲会主催の記念パーティーは、平成23年3月11日の東日本大震災のため、名称を卒業修了者交流会に変更して3月25日犠牲者に黙祷して開催されました。詳細については、5ページの報告をご覧ください。

以上

同期会開催報告

新制7期 狂歩楽々会

4月2日(土) 快晴のなか7期生11名
京都1周トレイルの最終コースを踏破。

京都1周トレイルは京都伏見稲荷を起点とし京都の外周の山々60Kをめぐるハイキングコースで平成16年9月に伏見稲荷を出発し春夏5回に分け踏破いたしました。



阪法43入学 還暦同窓会

2010年8月22日(日)に千里阪急ホテルにて、58名で開催。

団塊世代として、高度成長を支え、バブル崩壊に耐え、新しいステージへと移っていく各人の生き様に、皆頑張っているな、励まされた、青春の原点を見てきたな等という思いを胸に、「5年後」の再会を約して会場を後にした。



新制11期 同期会

平成22年度同期会は5月13日・14日、
平城遷都1300年に湧く奈良で実施。

参加者35名、初日は奈良町散策とホテルフジタ奈良での懇親会、二日目は薬師寺、唐招提寺、平城宮跡訪問と懐かしい仲間と句の奈良を満喫した。



昭和44年入学 同窓会

昭和44年入学組で8月21日(土)
22日(日)地元箕面観光ホテルで
一泊の同窓会を開催。

今回はみんな還暦を迎えたということも
あって一泊で集まりました。



阪大法44年入学 東京同期会

平成22年11月16日新宿での
同期会です。16名参加

阪大法44年入学の同期会を東京で
開催しています。毎年2回の開催で大
体20名弱の参加があり、昔話や健康
論議に花を咲かせています。



東京支部だより

東京支部長 藤淵 義信(新制13期)



▲ 藪中三十二前外務事務次官(18期)の講演

東京支部 連絡先

〒160-0004
東京都新宿区四谷1-9 天龍ビル5F
杉政静夫法律事務所内
TEL 03-3355-6575 FAX 03-3355-6576

まずはじめに、今回の東日本大震災の被害受けられた方に対し心からお見舞い申し上げます。被災地の現状を見たり、聞いたりするにつけ惨憺たる状況に心痛みます。早い復興を望むばかりです。

昨年度をふりかえりますと、経済学部・東京待兼会のご配慮により定例化した合同講演会は、6月5日に『知的財産法の理論と実務』とやや専門的な講演を牧野利秋氏にさせていただきました。

11月26日には、学士会館にて東京支部総会を開催しました。当日は遠路、中尾敏允法学部長、森信静治青雲会会長にもご臨席賜り、ご挨拶いただきました。2011年創立80周年への計画も聞かせていただきました。当日は、経済学部との合同講演会としまして、大阪大学社会経済研究所教授大竹文雄氏に「競争と公平感」の話をお聞かせしました。

12月17日の大阪大学卒業生の集いにも法学部から36名参加し藪中三十二氏の講演を聞きながら、にぎやかに楽しく過ごしました。部活動では、ゴルフ部が活発でこちらも、経済学部との交流で春と秋の定例コンペを楽しんでいます。

今年も各方面のご指導受けながら幹事会を開き工夫していきます。東京支部の皆さんの参加をお待ちいたしております。

名古屋支部だより

名古屋支部長 平野 修義(新制10期)



名古屋支部 連絡先

〒464-0072
名古屋市千種区振甫町3-26
平野 修義
TEL&FAX 052-711-1008

平成22年も例年通り経済学部同窓会と協力して、他学部卒業生も含む「名古屋待兼会」を運営いたしました。

2,4,6,9各月第3土曜日の例会ではそれぞれ、「海外を楽しみ・学ぶ」「医療制度の変遷と病院現況」「オカリナについて(演奏付)」「自動車部品の今昔」のテーマで出席者の1名(2月は私、平野)が約30分話し、その後毎回酒食、懇談を楽しみました。

11月13日の総会(写真)には阿部顕三経済学部長に御出席頂き、大阪大学80周年記念行事、大阪大学未来基金などについてご説明いただきました。又大学と同窓会の有機的なつながり強化に、卒業生の協力を要望されました。これらの行事への参加者総計は約100名でした。

このほか春秋の2回ゴルフ同好会を開催致しました。

本年も同様の行事を計画しておりますので、東海地方同窓生皆様のご参加をお待ちしております。

囲碁同好会へのお誘い

毎月第2土曜日(午後1時~午後5時)、青雲会交流センターで例会をもっています。手合いは、持ち点によるハンディ制で、勝てば1点与えられ、負けると1点減じられます。それぞれが技倆に応じた楽しみをしています。夏の大会、秋の現役囲碁部員との交流会、正月の全阪大囲碁大会への参加などのイベントもあります。あなたのご参加をお待ちしております。



お問い合わせは TEL : 06-6339-7747

幹事 山口 勝之(13期)まで メール : esakalawoffice@gmail.com

「白球を追って」青雲会 ゴルフコンペ

「青雲会」ゴルフコンペ 年2回開催(5月・11月)ぜひご参加を(詳細は事務局へ)

二十年・三十年ぶりに懐かしい同窓のメンバーが顔を合わせ、冗談を交わしながら、お互いの健康を喜ぶ会です。

11月9日の55回記念大会は、5期の的場 悠紀氏が優勝されました。

新しいメンバーの多数のご参加をお願いします。

参加ご希望の方は、
「青雲会」事務局(06-6850-5198)
までご一報ください。



第11期 青雲会奨学生(法学部留学生) 座談会

平成22年度の青雲会奨学生は、
韓国出身のHWANG SUNHEE(ファン ソンヒ)さんです。
森信会長からお話を伺います。(堀木副会長同席)



- 森信** 阪大法学部の同窓会である青雲会は、海外からの留学生を少しでも支援しようと、11年前から奨学金支給制度を実施しています。今年は韓国からの留学生のファン ソンヒさんです。韓国のどちらの出身ですか。
- ファン** 京畿道龍仁市です。ソウルの少し南にあります。
- 森信** そこでの生活、ご家族の状況などをお話してください。
- ファン** 4人家族です。4つ下の弟はアメリカへ留学しています。父は司法書士をしており、登記だけでなく離婚の書類を作成するなどの法的処理を行っています。
- 森信** どういうことで、日本の大阪大学に留学されるようになったのですか。
- ファン** きっかけは、日本語が専門の高校に入ったからです。韓国の法律は、元が日本の法律なのです。今、日本の法律に詳しい弁護士が少ないので、そこで働く価値ある仕事ができると思います。
- 森信** 大学では何を専門に研究される予定ですか。将来はどのような仕事に就こうと考えておられますか。
- ファン** まだ1年生なのではっきりしませんが、企業の顧問弁護士として韓国と日本が法律の解釈をめぐる紛争になるのを

防止する仕事をやってみたいと思っています。

- 森信** 今はどのようなアルバイトをされていますか。大阪ではどこにお住まいですか。
- ファン** 今までは、教職の科目等を沢山とっているためアルバイトはしていません。大学の近くの石橋に住んでいます。
- 森信** 日本の料理は好きですか。
- ファン** 寿司、刺身が好きだったが、大阪に来てお好み焼きが好きになりました。
- 森信** 趣味は何ですか。
- ファン** 映画が好きです。最近は見えていませんが、昔は映画は良く見ていました。
- 森信** 本日はお忙しいところに来て頂いて有難うございました。青雲会としては、今後とも勉強されてご活躍されることを願っています。今年の総会は7月9日(土)に開催されますので、是非ご出席ください。
- ファン** 是非総会に出席させていただきます。

青雲塾で会いましょう!

青雲塾担当 松井繁幸(第23期)

青雲会会員の他、会員の紹介のあった人(家族、友人、知人)もご参加大歓迎です。講師の自薦・他薦、企画の持ち込みも。事務局から案内をお送りしますので、是非、ご連絡ください。次回は決まり次第、ホームページに掲載します。

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/>



▲ 今村・前田両先生の指導で、能舞台上で足の運びの稽古(山本能楽堂)

2010年

5月24日(金)「ガスビル食堂でフランス料理を楽しむ夕べ」

★昭和8年竣工時、大阪で最も近代的で美しいビルディングといわれたガスビル。その最上階のレトロなレストランでフランス料理を楽しみながらのよもやま話。

11月13日(土)「竹内(たけのうち)街道周遊」

仲田 正徳 氏(第18期)

★日本最古の官道を歩く。仲田さんは、ご当地に生まれ育ち、現在、稲など農作物も育てながら、周辺の歴史・文化の研究や地域社会へも積極的に関わっておられる。

12月10日(金)「能を楽しむ -鑑賞と体験-」

今村 一夫 氏・前田 和子 氏(観世流能楽師)

★能の中から、「羽衣」「竹生島(ちくぶしま)」の見せ場を両先生が舞い、「高砂」の謡の稽古も。

2011年

3月10日(木)「♪音を楽しむ」・「音」からイメージを広げよう♪」

成尾亜矢子氏(ピアニスト)

★交流センターでのパワフルな講演のあと、「アヴェンヌ」でピアノ演奏ライブ。成尾さんの絶妙のご案内で、かなりクラシック音楽への敷居が低くなったのでは。

活躍する卒業生 I



2010年3月11日スカイマーク航空で神戸空港を8時20分出発、茨城空港に9時30分到着。この勢いで、翌日調布空港から神津島空港へ、船で新島へ、新島空港から調布空港。これで日本国内の定期便の飛ぶ飛行場を制覇しました。

前週、関空から石垣・宮古経由で多良間島空港を往復、眼下には訓練飛行場下地島空港が見えました。そのまた前週、那覇から北大東島、北大東島から南大東島、そして那覇と二泊三日の旅をしたばかり。

このフライトが最も費用が掛かりました。という訳で満を持しての茨城空港でしたが、国内線は開港当日の一日限りと言うことでチケットは即日完売、諦めていましたが神戸空港に勤務する大学時代の友人にスカイマーク航空に問い合わせて貰った所一席キャンセル有りということで直ちに入手しました。普段は左手に見える富士山を右手に見、霞ヶ浦・水戸偕楽園の上空を飛ぶというとても贅沢な飛行です。しかも帰りは羽田空港、二度と体験出来ない思い出です。

思い出のフライトは幾つも有りますが、日帰りでも最もハードだったのは、羽田から新千歳、新千歳から中標津、釧路から羽田です。途中根釧線は何度も鹿がぶつかり最終便に間に合うか冷や冷やでした。紋別もそうでした。前日、全日空から出発が10分遅れるという電話が入りました。そうなるとう網走へのたった1本の長距離バスに間に合わないのです。全日空からバス会社に交渉して貰い事なきを得ました。飛ぶかどうか危ぶまれたの

「日本全国空港制覇の旅」

小野 雅裕 (新制21期)

が利尻空港、直ぐに霧がかかってしまうのです。三宅島もその日の風向きで火山ガスの影響で飛ばないことが有ります。

冷やりとしたのはもう一つ年末羽田から大阪に飛び但馬空港に向かおうとしたのですが、大雪の為引き返すかもしれない、その場合はバスで大阪空港から但馬に送るといのです。私の住まいは兵庫県の川西、空港までは歩いて1時間で帰れる距離です。幸い無事飛びました。翌年始、今度は白浜空港から羽田に向かおうとしたら強風で飛ばないかもしれないと云うのです。万が一は大阪空港に帰って貰うとの事でした。これも幸い飛びました。

最後に失敗談を一つ、与那国空港で、本当に強風で飛行機が飛ばなくなりました。その頃、私は子会社の役員を務めており当日役員会でした。社長は風邪で休んだと思ってくれました。制約のあるサラリーマン時代に成し遂げた事がちょっぴり自慢です。その後も定期便の飛ばない飛行場を巡り、残り4つです。



活躍する卒業生 II



友人達との楽しいひととき
中央が和田氏、右が野村祥子さん(新制45期)、
左が堀木由紀さん(新制46期)

私は、1996年3月に大学を卒業し、同年4月に縁あってホシデン株式会社へ入社しました。最初の配属先は、総務部法務グループ。その後、1999年の春に人事部人事二課へ異動となり、現在も同じ部署に勤務しています。早いもので、この3月で丸15年を迎えました。ここまで長く勤続するのは、自分でも思っていませんでしたので、驚くばかりです。

弊社は、主に携帯電話、ノートパソコン、デジタルカメラ、カーナビゲーションシステム等に使用されるコネクタ、プラグ&ジャック、ソケットや、マイク・スピーカ・イヤホンといった音響部品、液晶ディスプレイ等を製造しています。

とは言うものの、入社以来、管理スタッフであるため、実際に製品を目にするのは少なく、私のお客様は自社の社員となります。人事と聞いて想像されるのは、採用、人事異動といった表向きの業務だと思いますが、私が携わっているのは、社会保険・労務管理・福利厚生等、裏方の仕事です。年金問題や過重労働によるうつ病など大きなテーマから社員の個人的な家庭事情に伴う繊細な問題まで取り扱うこととなりますので、それぞれの問題に対して、自分の常識にあてはめず、フラットな心で向き合うこと、社員にとってベストな結果となるよう行動することを心掛けています。

思い返してみると、会社が私を大人へと育ててくれたように感じます。こつこつと日々の業務を積

「入社15年を迎えて、 感じること。」

ホシデン株式会社

人事部人事二課 主務

和田 牧子 (新制44期)

み重ねることを通じて、人としてのあり方や人間関係に関することを沢山教えていただきました。社会は自分が学生時代まで生きてきた面とは全く違う面を多数持つ多面体であり、私を知る面は其中でも一番綺麗な面であったことを実感することもあれば、逆に、自分の狭い見識を超える素晴らしい面を発見することもありました。

現在は、いわゆるワークライフバランスのとれた生活を送ることができているように感じています。自身で職業を持ち、こうして健康に生活できていることが何よりの幸せです。幼い頃に憧れていた職業につくことができる人は一握りですし、私自身、働く意義を見出すこともまだまだできていませんが、いずれの職業であっても、働くということは、それを取り巻く状況を含め自分を成長させてくれるものだと感じています。

最後になりましたが、同窓の方々が各方面でご活躍されていることが、私にとって大きな励みになっています。今後も、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

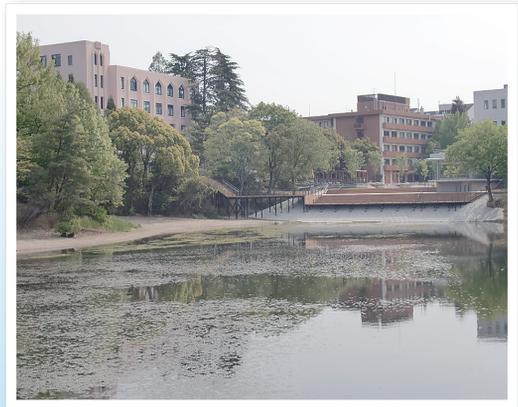


一シリーズ ◆キャンパス案内 (Vol.2)



大阪大学講堂

大阪大学会館の2階にある大阪大学講堂で本年度の青雲会総会を開催します。この講堂はアールデコ様式を意識し、建設当時の凛とした雰囲気を漂わせています。



中山池の整備

大阪大学会館前の中山池の池堤を改修するとともに、遊歩道(プロムナード)が整備され、楽しい水辺になりました。

青雲会 役員名簿

任期23年4月1日~25年3月31日

役職	氏名	期	担当	役職	氏名	期	担当
名誉会長	中尾 敏 允			副会長	野村 史 郎	新制27期	総務*総会
会長	三木 秀 夫	新制30期		副会長	西井 秀 行	新制36期	若手活性化*ホームページ
幹事長	三輪 省 三	旧制1期		副会長	堀木 由 紀	新制46期	会報*懸賞論文
副会長	山本 茂 伸	新制22期	総会*就職活動	副会長	里内 友貴子	新制51期	女性活性化*留学生奨学生
副会長	松井 繁 幸	新制23期	青雲塾	事務局	黒田 嘉次郎	新制18期	
副会長	松本 克 己	新制26期	就職活動	懸賞論文審査	川上 良	新制39期	懸賞論文
副会長	西畑 一 哉	新制27期	懸賞論文*就職活動	ホームページ監修	鶴飼 康 史	新制39期	ホームページ

平成22年度決算報告と平成23年度予算 概要

(単位:千円)

収入の部			支出の部		
項目	平成22年度決算	平成23年度予算	項目	平成22年度決算	平成23年度予算
会費収入	5,972	6,090	総会費	471	450
懇親会収入	471	450	会報費	2,027	2,050
その他収入	348	320	留学生奨学金	600	600
			ロイヤリング	500	500
			司法基金援助	500	500
			ソフト維持費	305	375
			懸賞論文	283	270
			支部助成金	370	370
			一般助成金	107	190
			人件費	929	1,000
			その他経費	1,627	1,128
収入計	6,791	6,860	支出計	7,719	7,425
収支差額				△928	△565
前期繰越金				6,464	5,536
次期繰越金				5,536	4,971

※本案は総会でご審議いただきます。

退任あいさつ

事務局長 青木 克夫 (7期)

2011年3月末日付で退任させていただきました。あつという間の8年間でした。半世紀前の大学生時代を想い出したりサラリーマン時代と違った先生方幹事様とお話ができて一生の思い出となりました。本当にありがとうございました。

青雲会事務局からのお知らせとお願い

●宛名印刷をご利用ください。パソコンのシステム近代化に伴い、宛名印刷が出来るようになりました。皆様の同窓会開催案内等にご利用ください。(費用:無料)

ごあいさつ
本年4月から青木事務局長の後を引き継いで、月、水、金の週3日事務局に勤めていきます昭和45年卒業、新制18期の黒田です。よろしく申し上げます。
事務局は、大阪大学豊中キャンパス(石橋)、大学院法学 研究科棟2階にあります。午前9時30分~午後3時30分(11時30分~12時30分 昼休み)に在室しています。会員の皆様のご連絡をお待ちしております。

TEL.06-6850-5198 青雲会事務局 黒田嘉次郎(新制18期)